

特別支援教育班 授業研究

豊かな未来を切り拓く子供の育成

実践発表

13:30～	1 はじめのことば	
13:35～	2 研究発表	
13:50～	3 実践発表	
14:05～	4 質疑応答	
14:15	5 おわりのことば	

分科会

14:30～	1 はじめのことば・研究協議説明
14:35～	2 研究協議（ワークショップ型）・各グループの発表（数グループ）
15:37～	3 指導・助言 鹿児島県総合教育センター 古村 洋介 研究主事 鹿屋市教育委員会 四ツ永 信也 指導主事
16:00	4 おわりのことば

研究協議：～子供の学びの姿について取組や困っていることを出し合い手立てなどを話し合う～

学びの姿	研究の視点
ア 自分の問いをもつ	個別最適な学び 自らの課題を改善・克服するためにはどうすればよいかを考える課題把握場面の設定により、目的意識をもちながら主体的に自分の課題を改善・克服しようとする意欲をもてるようにする。（活動計画や導入の工夫・構造的な板書やワークシートの工夫）
イ 解決の見通しをもつ	
ウ 自分の考えを見いだす	協働的な学び 協働的な学びにより、自己理解と他者理解を深めながら、自己肯定感を高めたり、達成感を味わったりすることで、自分の課題を改善・克服できるようにする。（子供たちがかかわり合う場の設定と即時評価）
エ よりよい考えを見いだす	
オ 自分の考えを再構築する	日常と学びの連動 日常生活における自分の困りを改善・克服していくための方法を見だし、その選択肢を増やししながら、実践していくことができるようにする。（振り返りの充実）
カ 自己の変容を自覚し学ぶよさを実感する	

ワークショップ型研修会 ～みんなで取り組み、学び合う授業研究～

- 1 学びの姿ア～カについて、日頃取組や困っていることなどを付箋に書く。（書きやすいものから）



子供が自分の課題を意識して学習をスタートできるようにしたいんだけど・・・困ってます。

- 2 付箋に書いたことを模造紙に貼りながら紹介し、グループで共有する。
- 3 紹介された取組のよさや改善策などについて話し合う。



子供が自分の課題を意識できるようにするって、どうしたらいいですかね？

- 4 話し合ったことを発表する。（数グループお願いします。発表は2分程度です。）

【付箋にメモするときの記号】 ★取組 ■困っていること

特別支援教育は実践発表になります。当日の発表をご覧ください。

※事前配付用の指導案等はありません。